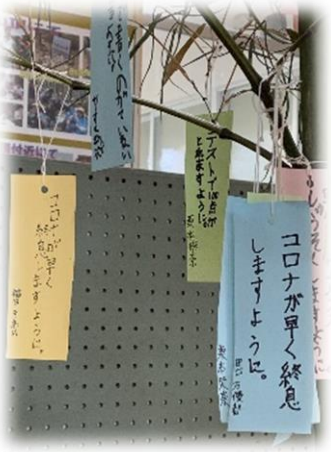
令和２年度学校だより　学校教育目標「せいいっぱい　きたえ　のびよう　東っ子」

東白川小だより

令和２年７月３１日（金）ＮＯ．５

「当たり前のこと」の喜び

東白川小学校長　　伊佐治　晃



七夕集会より

東白川小学校 76 名、出席日数 40 日の 1 学期が終わります。今年度は、入学式、始業式後、4、5 月がコロナウイルス感染症対応のため臨時休業となり、さらに、7 月 6 日から 4 日間連続の大雨警報による臨時休業となりました。そのような状況でも全校 76 名が全員出席できた日が 23 日ありました。これは、各家庭で健康に気を配っていただいたり、生活のリズムを崩さないようにご配慮いただいたりしたおかげだと思います。ありがとうございます。

「新しい生活様式」が徐々に浸透し、マスクをつけることはもちろん、思いやりの距離、消毒、検温等が当たり前のこととなってきていますが、子供たちが元気に生活できていることがなによりです。毎朝、元気にあいさつをする姿、元気に手を挙げ発表する姿、おいしそうに給食を食べる姿、委員会活動に励む姿・・・これまで当たり前にやってきたことに喜びを感じます。

これから始まる夏休み、そして 2 学期からの活動にもいろいろがまんしなければいけないことが出てくるでしょうが、方法を工夫しながら、できることに精一杯取り組み、笑顔で生活できることをみなさんで目指していきたいと思います。ご協力、よろしくお願いいたします。

史上最年少で将棋タイトルを獲得した藤井聡太棋聖は「これからも探究」と会見で語っています。一生懸命になれることがあるというのは「生きる力」になります。いつもより短い夏休みですが、何か一つについて、夢中になって取り組む 16 日間にしてみませんか。

☆少年の主張大会彡

私と図書館

５年　　安江　來夢

みなさんは、本が好きですか。私は本が大好きです。将来、図書館を開きたいとも思っています。

図書館を開きたいと思っているのには、理由があります。私は、１年生の時、６年生の人と図書館へ行きました。そして、本を読んでいくうちに本が大好きになっていました。だから、５年生になった今でも図書館で本を読んでいます。４年生の時には、委員会で図書委員になりました。図書委員は、本が大好きな私にとっては、最高でした。

私には好きな本があります。それは、「神様に会いたい」という本です。「神様に会いたい」という本は、主人公の雄一が、大好きなおばあちゃんにうそをついたまま、永遠の別れをむかえてしまい、小さな事から、同級生の竜也といっしょに、「神様」との交信を試みる、「心の傷を抱えた少年たちのひみつの友情と成長」の物語です。私はこの本の最初と最後のページが特に印象に残っています。理由は、「ひみつの友情と成長」の中で、最初のページでは、竜也と雄一は仲良しではないけど、最後のページでは、友情も深まり、成長もしたからです。

この本は、私の一番のお気に入りです。だから図書館を開いた時に、「おすすめの本」として、みんなに知ってもらいたいし、読んだ人が大好きになってほしいです。読んだ人が本を好きになれば読んだ人がその本をみんなに教えていって、この本がみんなに知れ渡り本が好きな人がどんどんふえていくと思います。

この他にも、みんなにすすめられる本を増やすために、学校などのおすすめの本を読んで私は図書館を開くためのじゅんびをしていきたいです。まず、本がたくさんないと図書館とは言えません。だから本を少しずつ少しずつためていって、図書館を開けるようにしたいです。私は、図書館を開いたら、私的に、「サービス」をつけたいと思います。例えば、何日間来たら、スタンプがもらえて、そのスタンプをためればけいひんがもらえるなど小さい子が楽しめるものを作りたいです。他にもくじ引きやビンゴなど一定期間のイベントを作るのも良いと思います。イベントなどを作れば小さい子もたくさん来ると思います。

でも、小さい子だけ楽しむのではなく、小さな子から大人まで楽しめる図書館にしたいので、小さい子が遊べる小さな遊び場などの休憩スペースなども作りたいです。小さい子は遊び場で遊べるし、小さい子の親は休憩スペースで休めるようにしたいです。そして、図書館では、グッズなども売りたいです。理由は、グッズなどを売れば、本をたくさん、集めることができ、図書館の本が多くなるため、たくさんの人が借りられるようになるなど、色々と便利になると思うからです。図書館で多くの人が本で学んだり、休憩スペースで遊んだりすれば良いと思います。

私は、将来、図書館を開くために、これからもたくさんの本を読み、おすすめの本を集めるなどの努力をして、図書館を開くじゅんびをしていきたいです。

まだ好きな本がない人も図書館に来て、本を読めば好きな本が見つかるかもしれません。そして、本好きな人が一人でも増えることが私の願いです。

仕事のすごさ

６年　　田口　万優都

ぼくは、昔から様々な職業に興味があります。だから、その年によって、よく将来の夢が変わっていました。だけど、今抱いている夢は、これまでの中で一番思いが強く、この職業に就きたいと思っています。それが「医師」です。なぜこの職業に就きたいと強く思ったのか、それには三つの大きな理由があります。

一つ目は、仕事をしている人の表情です。重大な責任があり、ミスのないように、慎重に物事をこなさないといけないこの職業。ぼくは、風邪をひいたり、けがをしたりしたときに病院に行きます。いつ行っても、働いている人は、みんな笑顔で、「どこが痛いの」。「大丈夫」。などと、ぼくが話しやすいように接してくれました。なぜか、その笑顔を見ていると、自分の体調なんか忘れて自然と笑顔になれました。ぼくは、疲れているときは笑顔では過ごせません。休む時間もないぐらい忙しいはずなのに、いつも笑顔で接してくれる先生の姿がすごいなと思いました。

二つ目は責任の重さです。人の命を預かり、守り抜くその大変さは、簡単には分かるはずのないものです。つまり、簡単には感じることのない緊張感、責任感と毎日隣り合わせで戦っているのです。ぼくは、今まで大きな病気にかかったことはないし、大けがもしたことがないから、大きな病院ではどのように働いているかは分かりません。だけど、ぼくの想像を軽く超えてしまうような仕事なので簡単な気持ちでは通用しないと思いました。どんな些細なことでも、行うこと一つ一つに責任がありたった一つの小さなミスで一人の命が一瞬で消えるかもしれないのです。この職業で毎日働いている人が、とても誇らしく思えました。

三つ目は考え方です。みなさんは、命についてどのように考えていますか。病院で働く人たちは、命を預かり助けることが仕事です。だから、命については、ぼくたちとは違う考え方をしていると思います。命の炎を消さないように、できること全てを出し切り続ける姿がかっこいいと思いました。

医師という仕事の責任の重さも、難しさも、大変さも分かった上で、それでもぼくは医師になりたいと思います。そのためにも、一日一日を大切に過ごしたいです。今年は、最高学年として、自分の

行動に責任をもち、下級生の子にしっかりついてきてもらえるように頑張りたいです。正直、今の自分は感情に左右されやすいので、自分の気持ちをコントロールできるようになりたいです。また、顔に出したり、口に出したりしないように、意識したいです。一人一人を大切にすることにもこだわれないといけないので、特に、人とのつながりを大切にして、自分の行動にしっかり気を付けていきたいと思います。この夢をもつまで、命についてほとんど考えたことがありませんでした。命、その重みを感じ取って、人を傷つけることを言わないように気にかけて日々過ごしていきます。

今は、最高学年としての立場で考えることにこだわっています。学校のリーダーとして、全校のみんなの笑顔を増やしていきたいと思います。さらに、分団長会長として、登下校中の事故ゼロ、けがゼロを目標に取り組んでいきます。みんなの命に関わる大切な立場なので、白線から出たり列から外れたりしているときは、その子のためにも厳しく注意をしたいです。この思いを一年間大切にして、思い描く夢に向かって出し切っていきます。

＜お願い＞

○夏休み中も健康チェックを！

新型コロナウイルス感染拡大防止の強化に伴い、７月２３日より健康チェックカードが新しくなり、休日も健康チェックをお願いするようになりました。

８月１日より夏休みがスタートします。８月用の健康チェックカードを配付させていただきますので、夏休みの間も毎朝健康チェックをして、健康管理に気を付けていただきたいと思います。尚、お子さんが、ＰＣＲ検査等を受けることが確定した場合や濃厚接触者の疑いがある場合には、下記にある緊急連絡先への情報提供をお願いいたします。

※ ８月３・４・５日　→　０５７４－７８－２０２４（小学校）

※ ８月１・２日、学校閉庁日　→　０９０－７３０６－２０２４（小学校携帯）
（８月６日～１６日）

○児童に発熱等かぜ症状がみられる場合の対応について

児童(本人)に発熱等かぜ症状がみられる場合の欠席は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、出席停止扱いとなります。出席停止の開始日及び終了日については、担当医やかかりつけ医の指示に従ってください。また、医療機関を受診しておらず、一時的な発熱の後、他に症状がない場合は、解熱後１日様子を見てから登校することが望ましいと考えられます。

コロナ禍の折、２学期以降も保護者の皆様には慎重な対応を求められることが多くなってくると思われます。ご理解ご協力のほど、お願い申し上げます。